

# 地域連携をもっと身近に地域貢献をもっと高める 就労移行支援事業所の取り組み

- 小川大輔（ウェルビー株式会社 ウェルビー千葉駅前第2センター  
就労移行支援部 就労支援員）



## 就労支援事業所の役割と考え方について

### **【役割】**

**就労を希望される障害者に対して就労定着へ向けた訓練及び相談支援を提供する場所である。**

### **【考え方】**

**多角的なサポートが就労定着に反映する**



## センターの紹介

法人名：ウェルビー株式会社  
ウェルビー千葉駅前第2センター

【2022年9月時点】

利用者様の就職者数	36名
定着率	91%

事業所開設：2017年11月1日

事業所スタッフ：6名      定員：20名

就労定着支援事業所併設



## 本モデルに取り組んだ経緯

### 【経緯】

支援機関の方々も当事業所の**意見を求めている部分**を感じる場面があった為。

### 【多職種連携会議の名称に込めた想い】

数多くの支援機関に参加して頂き、枠が広がる連携が目指せるように。



## 多職種連携会議で話し合ったテーマと気づき

## 第1回テーマ〈就労移行支援事業所の困難事例〉

氏名	A氏
年齢	30代
性別	女性
診断名	うつ病、アルコール依存症
ニーズ	安心した環境で就労したい

## 【A氏の具体的な困難事例】

他者の振る舞いに過敏で、過度な怒りを抱えてしまう。結果多量の飲酒をして希死念慮をほのめかす電話を繰り返す。



## 多職種連携会議で話し合ったテーマと気付き

### 【会議で挙げた意見】

- ① **クライシスプランの活用**
- ② **不調のサインの把握**

### 【支援結果】

**感情的になる回数は減り、過度な飲酒からの連絡も無くなった。**



# 多職種連携会議で話し合ったテーマと気づき

## 第2回テーマ〈各支援機関の役割〉

### 【参加機関】

- ・ 支援センター、グループホーム、相談支援事業所、特別支援学校

### 【話し合いテーマ】

- ・ 各支援機関の役割について



多職種連携会議で話し合ったテーマと気づき

## 第3回テーマ〈8050問題、家族支援の困りごと〉

① 80に着目した困り感

② 50に着目した困り感

③ 家族支援の困りごと





## 多職種連携会議で得られた参加者からの意見

- ① **新たなネットワークの構築が行えている。**
- ② **初めて知った支援機関だが、ぜひ相談したい方がいると。**
- ③ **会議参加後に、連携する事案もあったと共有頂く。**



## 多職種連携会議からの学び

**【学びについて】**

**多角的な意見により見識が深まる  
共感から安心感へ**

**【課題】**

**共通認識で話せるテーマが限定的  
参加者の意識**

**【最後に】**

**就労移行支援事業所だからできるネットワーク  
支援力の向上**



皆様へ

**ご清聴頂きありがとうございました。**